



足立入谷小だより

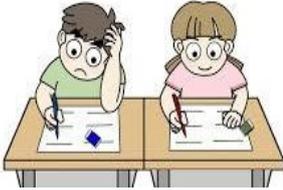
令和元年7月19日

足立区立足立入谷小学校

校長 添野 誠

この子供たちの学力を診て

校長 添野 誠



足立区小中学校全校が実施した学力調査が返ってきました。夏休み直前号は、学校の本分である「子どもたちの人格的成長を目指し、心身共に必要な資質を備えられるように教育すること」の中から学力に焦点を当てて考えてみます。

分析結果によると、本校の児童は国語と算数の2教科に限って言えば、算数の方が高得点でした。しかしこれは計算などの処理技能であり、数学的思考という文章問題等は課題が見られました。これに関連してか、算数に比べて国語は全般的に課題が散見しています。特に「読む力」と「書く力」の二つはこれから意識して指導し、子どもたちも学習に励んでいくべき事項となりました。

読む力とは、大まかに言うと、①あらすじ的に概要をつかむ力、②前後の脈絡に注意して文章全体を詳しく読む力、③読んだことに対して自分の感想や考えをもつ力、の3つを言います。本校の子どもたちは、どうも①と②が苦手ようです。

書く力とは、これも大まかに言うと、Ⅰ書く目的に沿って構想する力、Ⅱ構想を基にして書き並行して修正する力、Ⅲ書いたものを活用する力、の3つです。ここでは、ⅠとⅡが苦手そうです。

これをどう克服すればいいのか、今先生たちは頭をひねっています。私も教師の端くれですから、教科書片手に教室に飛び込んで実際に授業を行い、子どもたちの実態を診ているところです。そうしたら、「読むこと」に関してですが、ほんの少し分かったことがありました。

高学年は非常に集中力が高く、文章に飛びつきます。これは、学習姿勢として文句なしです。しかしよく見ていると、集中している割には「読み間違い」や「読み飛ばし」をしています。音読学習が少ないのかもしれない。また、少し困難な問題は早々にあきらめてしまう傾向も見られました。特にペーパーテストに限れば、上の問題文と下の設問を行ったり来たり往復して、確認するように考える必要があります。それを「読み間違い」をして「早々にあきらめる」では問題に正対することは困難です。億劫がらない粘り強い心が絶対に必要です。

低学年は、高学年以上に食いつきます。知的好奇心を前面に出して、学年を超える力を見せてくれました。現に1年生は3年生級の読みの力を、そして2年生は5年生級の力（「このように…」という言葉に全段落が詰め込まれていると発言した子がいました。これには驚きました。）を発揮する子が何人もいました。しかし、年齢的なものもありますが、あまり長続きしません。もう少し持続して学習できればさらに力を発揮すると思います。低学年はどの子も45分間（途中でトイレなど行かずに）机を離れず、気を散らさずに勉強することが大目標です。

そしてもう一つ、教科に関わらず大きな課題が見えました。それは「定着不十分」なことです。ことさら学力調査では、かつて学んだことが出題されるので、解答用紙に再現されないと得点に結びつきません。この子供たちは、学校で非常によく学びます。そして覚えようとします。しかし、それを体に染みこませる鍛錬が少ないのかもしれない。今後、宿題を含めた家庭学習を今以上に大切にしたいです。

これからも私は足繁く教室に通い、機会があれば授業をして子どもたちの深い部分を診ていきたいと思っています。そして、担任や専科と力を合わせて「資質・能力を備えた子」に向けて努めて参ります。各ご家庭も、学校と共に子どもたちの学力向上に向けて歩めるよう、ご協力をお願いいたします。長い夏休みになりますが、けがや病気をせず、一人一人が強い子になって学校に戻ってくることを、楽しみに待っております。

七夕集会

特活担当 西浦 紀子



足立入谷小では、子供たちに季節の行事を味わってもらえるよう、毎年7月に七夕集会・2月に節分集会・3月にひなまつり集会を行っています。今年も7月5日（金）に一人一人が書いた短冊や、なかよし班活動で全員が作った七夕飾りが飾られた体育館で七夕集会を行いました。

初めに集会委員会が七夕を題材にしたオリジナルの短い劇を見せました。その後全校で「織姫・彦星を探せ」ゲームを楽しみました。このゲームは、同じ番号の「織姫カード」と「彦星カード」を持っている人を見つけるゲームで、早くペアが見つかった3組6人に短冊に書いた願い事を発表してもらいました。クラス全員のことを考えた願い事や家族の幸せを願う願い事、自分の将来の夢の願い事もありました。

集会終了後、自分の短冊や飾りのついた小さな笹を切ってもらい、嬉しそうに持ち帰った子もいました。

道徳授業地区公開講座

道徳担当 笠原慎太郎

今年度の道徳授業地区公開講座は「安全」をテーマに、道徳の価値項目に照らし合わせて、授業を行いました。1年生から4年生の節度や節制、規則の尊重の価値項目は、自分の行動や態度が「安全」を守ることにつながること、5年生の学校生活・集団生活においては、自分自身の役割を自覚し、協力していこうとすることで、全体の「安全」を守ることにつながること、6年生の善悪の判断、自律と自由と責任は、1年生から4年生の内容をさらに高度化し、社会の安全を守っていこうとする態度を養おうとする授業となりました。

学習指導要領の改訂により、特別な教科「道徳」となりましたが、道徳の授業を通して、子どもたちに育んでいきたいことは、これまでと変わりません。すべての教育活動の中で、またご家庭と、地域とも手を携えて、子どもたちがよりよく生きていくための道徳心を育んで参りたいと思います。



セーフティー教室

安全担当 岡井 謙太

7月5日に講師を招いて、セーフティ教室を実施しました。ゲーム課金、SNSの投稿、ながらスマホに潜む危険について動画で説明し、子ども達に質問しながら、全員参加型の講演をしてくださいました。「ネットに公開された内容は簡単に削除できない。」ということや、相手に間違った意味で伝わり得ることがあることなど、様々なリスクもていねいに子供たちに伝えていただきました。スマホは便利だからこそ使い方に気をつけ、上手に付き合っていかなければいけないことを、これからも繰り返し伝えていきたいと思っています。



※9月7日（土）12:00～は「親子でたのしもうデー」開催！！

◎バザーへの出品も受付中です。職員室や主事室にお声掛けください。